

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	ファッション造形基礎	2	3	文系0選択①/②

使用教科書	副教材等
ファッション造形基礎	特になし（あれば「服飾手芸」の教科書）

科目の目標
<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技術	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養おうとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養おうとしている。

評価方法
小テスト、作品の製作過程の記録、提出物、取り組む姿勢 等

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
	衣服の構成・衣服の素材	衣服の構成・衣服の素材	人体と衣服の関係を理解する。 衣服の素材とその性能を理解する。	○		
5	製作の基礎	布地の性質と扱い方、縫製の基礎	布地の種類（表地、裏地、しん地）や性質を理解し、それぞれの特徴に合わせた地直しや断ち方、縫い方を習得する。	○	○	○
6 7 8 9 10	和服の製作（浴衣）	長着の製作 採寸、裁断、縫うための準備（布橋の始末等）、襟づくり、袖づくり、背縫い、おくみつけ、襟つけ、脇縫い、裾縫い、袖つけ、身八つ口・振八つ口の始末、仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、長着（浴衣）の製作をする。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 ・見通しをもって製作に取り組む。 	○	○	○
11 12 1	巾着等の製作	残り布を使って新しいものをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・和服（浴衣）製作で余った生地を手を加えて、お揃いの巾着を製作する。 ・今までに身につけた基本的な知識・技術を用いて、巾着を仕上げる。 	○	○	○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	フードデザイン	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
フードデザイン Food Changes LIFE	特になし

科目の目標 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技術	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	
ペーパーテスト（期末）、提出物、調べ学習、学習に取り組む姿勢	

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	健康と食生活 食育と食育推進活動	健康と食生活 食育推進の取り組み・食文化を見つける・食と環境	健康や食育に関することを学び、各自でまとめ発表する。	○	○	○
6 7	食品の特徴と調理	食品の特徴と調理	実習を通して食品の特徴と性質を理解し、基本的な調理操作・技術を習得する。	○	○	○
	調理の基本	調理の基本	おいしさを構成する要素について理解する。 牛乳・乳製品、果物類、穀類、寒天・ゼラチンの実習で調理技術を習得する。	○	○	○
8	献立作成	食事計画	献立作成のポイントについて理解し、給食のメニューを考え、調理する。	○	○	○
9	食品の特徴と調理		卵、魚介・肉、砂糖、豆類、野菜類、いも類の調理技術を習得する。	○	○	○
10						
11	料理様式	料理様式	さまざまな国の食文化の特徴、献立構成、マナーを理解する。	○	○	○
12 1	テーブルコーディネート	テーブルコーディネート	テーブルセッティングの基本的な考え方を学ぶ。	○	○	○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	住生活デザイン	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
リビングデザイン	特になし

科目の目標 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、豊かな住生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技術	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	快適な住空間の計画やインテリアデザインに関する課題を発見し、豊かな住生活の実現を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	豊かな住生活の実現を目指して自ら学び、住空間のデザインに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評価方法
ペーパーテスト（期末）、調べ学習、提出物、住宅デザインソフトによる設計、取り組む姿勢

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	福祉住環境と室内計画	住生活の充実・向上	住生活に関することについて各自でまとめ発表する。	○	○	○
6	住生活と住居の変遷	住生活と住居の変遷	各時代の特徴的な住居様式を学び、住居の変遷を理解する。	○	○	○
	住生活と環境	住生活と環境	気候風土と住居との関わり、生活様式と住居との関わりについて理解する。	○	○	○
7	住居の選択と管理	住居の選択と管理	家族の生活と住意識や住欲求との関わりについて理解する。住居の選択に関する知識をもとに、ライフスタイルに応じた住居選択をできる能力を身に付ける。住居の維持管理の必要性と知識を知る。	○	○	○
8	インテリア	インテリア	インテリアの基本を知る。色彩計画を立てられる。	○	○	○
9						
10	住居の設計	住居の設計	住居の設計に関する基礎知識を身に付ける。住宅法規の基本を知る。図面を読む技術をも身に付ける。パソコンソフトを利用した平面図が作成できる。	○	○	○
11						
12						
1			発表会を行い自分の設計を振り返る。			

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	保育基礎	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ	特になし

科目の目標 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技術	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	
ペーパーテスト（期末）、提出物、保育実習、学習に取り組む姿勢	

学習計画				評価の観点		
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標			
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	子どもの福祉	子どもの福祉	子どもの福祉について学び、各自でまとめて発表する。	○	○	○
6	子どもの発達の特性	子どもの発達の特 性	発達と環境のかかわりや児童観・発達観について学ぶ。	○	○	○
7	子どもの発達の過程	子どもの発達の過 程	胎児と新生児期の身体的・生理的特徴を理解する。乳幼児期の心身の発達を理解する。	○	○	○
8 9 10 11	子どもの生活	子どもの生活	遊びを生かしていく保育について理解するとともに、実践し、技術を学ぶ。 保育実習①の企画、準備、練習、実践、振り返りを行う。 保護者の役割について理解し、望ましい親子の係わり方を学ぶ。 子どもの生活と養護の方法を理解し、栄養と食事の実習を通じて、技術を習する。保育実習②の企画、準備、練習、実践、振り返りを行う。	○	○	○
12	子どもの保育	子どもの保育	家庭保育と集団保育の方法について学ぶ。	○	○	○
1	子どもの文化	子どもの文化	身体表現活動、造形表現活動について学ぶ。	○		